

ANA Group  
企業情報

ENGLISH

お問い合わせ

サイトマップ

航空券予約・各種サービス

TOP

ANAグループについて

グループ企業一覧

株主・投資家情報

CSR

プレスリリース

採用情報

## ANA HOLDINGS NEWS

第17-025号  
2018年3月22日

## PeachとVanilla Airの統合について

～アジアの「リーディングLCC」を目指します～



ANAホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：片野坂 真哉/以下「ANAHD」）は、Peach Aviation株式会社（本社：大阪府泉南郡、代表取締役CEO：井上 慎一、以下「Peach」）とバニラ・エア株式会社（本社：千葉県成田市、代表取締役社長：五島 勝也/以下「バニラエア」）を、2018年度下期より統合に向けたプロセスを開始し、2019年度末を目途にPeachを基盤に統合することを決定いたしました。

今後は、これまで培ってきた関空・成田などを拠点とした路線ネットワークのさらなる拡充に加え、魅力的な運賃設定や期待を超えるサービスの実践、様々なイノベーションを通じ、国内外の潜在需要を喚起し、新しいマーケットを切り拓いてまいります。

## これまでの両社の歩みについて

Peachは、「空飛ぶ電車」をコンセプトに、2012年3月に日本初のLCCとして関空より就航しました。イノベーティブなマーケティング手法など、航空会社の枠に捉われないことのない、新たな取り組みにより、お客様の体験価値を高めてきました。さらに、安定した運航品質と積極的な経営戦略の実行により、日本におけるLCCマーケットを牽引してきました。

バニラエアは、成田空港にて2013年12月の就航以来、首都圏需要を背景に国内線・国際線において、積極的に路線ネットワークを拡大してきました。国内線においては、奄美路線をはじめ新たなプレミアム需要を創出するなど、地域活性化にも貢献してきました。また、国際線においては台湾と日本各地を結ぶ路線展開などにより訪日需要を取り込んできました。

## 統合の目的について

今回の統合により、国内における需要の開拓、旺盛な訪日需要の獲得をさらに推し進め、グループ内のLCC 2社が持つお互いの強みを融合することで競争力を高めていく方針です。2020年以降、Peachは50機を超える機材と国内・国際線合わせて50路線以上の規模で、日本とアジアをつなぐ路線ネットワークのさらなる拡充を図り、アジアを代表するリーディングLCCを目指してまいります。

さらに、2020年を目途に中距離LCC領域へと進出し、成長著しいアジアの需要を積極的に取り込むことで、訪日外国人旅行者数を4,000万人とする政府目標の実現に貢献してまいります。2020年度には売上高1,500億円、営業利益150億円規模の目標を掲げ、統合による諸施策を実施することで、ユニットコスト低減などの運営の効率化を推進いたします。

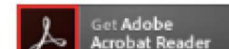
ANAHDは、これまで同様、LCC事業に関して経営の独自性を尊重しながら、ANAグループ全体の事業領域の拡大、収益の最大化に向けてポートフォリオを深化させてまいります。

以上

## 印刷をされる方はこちらをご利用ください

[PeachとVanilla Airの統合について](#)

PDF形式を閲覧するにはAdobe Readerが必要です。

[前のページに戻る](#)[▲ Page Top](#)